

国際生物学オリンピック日本委員会
委員長 浅島 誠

第 31 回国際生物学オリンピック日本代表決定

～ 長崎県佐世保市で開催される国際大会で、世界の仲間と生物学を深める ～

国際生物学オリンピック日本委員会(委員長:浅島 誠)は、第 31 回国際生物学オリンピック(2020 年 7 月 3 日から 11 日までの 9 日間、長崎県佐世保市で開催)に派遣する日本代表 4 名および次点者 2 名を決定しました。

日本代表および次点者は、全国 4,340 名の受験者から三次にわたる試験を経て選ばれました。今後、大学教員や専門家も交えた国際生物学オリンピック日本委員会・プロジェクトチームによる、数回の合宿を含む特別教育を受け、7 月の国際大会に臨みます。国際大会においては、世界の各国・地域から参加する代表たちと生物学を競い、そして生物学好き同士の友情をはぐくみます。

第 31 回国際生物学オリンピック 日本代表(五十音順)

氏 名	フリガナ	性別	在学学校(所在地)	学年
金久 礼武	カネヒサ レン	男	高知学芸高等学校(高知県)	高3
川本 青汰	カワモト セイタ	男	京都府立洛北高等学校(京都府)	高3
末松 万宙	スエマツ マヒロ	男	栄光学園高等学校(神奈川)	高3
松房 愛実	マツフサ マナミ	女	桜蔭高等学校(東京都)	高3

同 次点者(五十音順)

次点者 2 名は日本代表 4 名とともに代表団として同じ特別教育に参加し、日本代表に参加できない事由が発生した際には代わって国際大会の日本代表となります。

氏 名	フリガナ	性別	在学学校(所在地)	学年
尾崎 大翔	オザキ タイショウ	男	灘高等学校(兵庫県)	高3
八田 琴海	ハッタ コトミ	女	桜蔭高等学校(東京都)	高3

国際生物学オリンピックは、世界の中等教育学校の生徒を対象にした生物学の国際的なコンテストです。生物学への関心を高め、参加者の才能を開花させるとともに、各国の生物学教育について情報を交換したり、生物学を学ぶ若者の国際交流を促進するために毎年開催されています。1990 年の第 1 回大会(旧チェコ・スロバキア/オルモウツで開催)から数えて第 31 回となる 2020 年の国際大会は長崎県佐世保市で開催されます。

日本代表の抱負

金久 礼武 高知学芸高等学校(高知県)

国際大会出場を目標に勉強してきたので、代表に選んで頂けとても嬉しく思っています。
良い結果を出せるように努力するとともに、貴重な機会なので、精一杯楽しみたいです。

川本 青汰 京都府立洛北高等学校(京都府)

日本代表として IBO という舞台に立てることになり、大変うれしく思うとともに責任を感じています。
長崎で最大限の成績が出せるように準備をつみ、7月のIBOでは思う存分貴重な体験を楽しみ、悔いの無い大会にしたいと思います。

末松 万宙 栄光学園高等学校(神奈川)

日本代表に選んでいただいたことが未だに信じられませんが、精一杯努力したいと思います。まずはIBOの開催を祈っています。

松房 愛実 桜蔭高等学校(東京都)

国際生物学オリンピック日本代表に選んでいただき、本当に嬉しく思います。与えていただいたこのチャンスを大切にして精一杯頑張ります。

<問い合わせ先>

国際生物学オリンピック日本委員会 (JBO)

広報担当：笹川、鳩貝

東京都千代田区北の丸公園2番1号科学技術館内

E-Mail : jbo@jsf.or.jp URL : <http://www.jbo-info.jp/>

公益財団法人日本科学技術振興財団 人財育成部 橋山

TEL 03-3212-8518 FAX 03-3212-7790

参考資料

■ 国際生物学オリンピック (International Biology Olympiad : IBO)について

国際生物学オリンピック (IBO) は生物学に関心を持つ中等教育学校の生徒を対象とした国際的なコンテストです。

- ・生物学の問題や実験に挑戦し、生物学への興味と創造性やねばりづよさを競う。
- ・参加する生徒の能力を伸ばし、科学者への道に導く。
- ・生物学を学ぶ生徒どうしの国際的交流の機会をあたえる。
- ・生物学教育に関するアイデアと教材の国際的な交換を推進する。

これらを目的に 1990 年に旧チェコ・スロバキアのおロモウツで第 1 回大会が開催されて以来、毎年開催国を持ち回りにより開催されています。

コンテストは、生物学に関する理論課題試験と実技課題試験によって競われます。また、それだけでなく、参加者同士の国際的交流をはかることも重要な要素とされています。毎年 7 月に開催される大会には、各々の国内選考を経て選ばれた 4 名の代表生徒と引率役員が各国・地域から参加します。

■ 国際生物学オリンピックにおける日本代表の成績

開催年	開催数	開催国	開催期間	参加国 地域	参加者数	日本代表 (4 名) の成績
2005 年	第 16 回	中国／北京	7 月 10～17 日	50	198 名	銅メダル 2 名
2006 年	第 17 回	アルゼンチン／リオクアルト	7 月 9～16 日	47	198 名	銅メダル 3 名
2007 年	第 18 回	カナダ／サスカトゥーン	7 月 15～22 日	49	192 名	銀メダル 1 名 銅メダル 3 名
2008 年	第 19 回	インド／ムンバイ	7 月 13～20 日	55	220 名	銀メダル 3 名 銅メダル 1 名
2009 年	第 20 回	日本／つくば	7 月 12～19 日	56	221 名	金メダル 1 名 銀メダル 3 名
2010 年	第 21 回	韓国／昌原 (チャンウォン)	7 月 11～18 日	58	233 名	金メダル 1 名 銀メダル 3 名
2011 年	第 22 回	台湾／台北	7 月 10～17 日	58	229 名	金メダル 3 名 銀メダル 1 名
2012 年	第 23 回	シンガポール	7 月 7～14 日	59	234 名	銀メダル 4 名
2013 年	第 24 回	スイス／ベルン	7 月 14～21 日	62	240 名	金メダル 1 名 銀メダル 3 名
2014 年	第 25 回	インドネシア／バリ島	7 月 6～13 日	61	239 名	金メダル 1 名 銀メダル 3 名
2015 年	第 26 回	デンマーク／オーフス	7 月 12～19 日	61	239 名	金メダル 1 名 銀メダル 2 名 銅メダル 1 名
2016 年	第 27 回	ベトナム／ハノイ	7 月 17～24 日	68	263 名	金メダル 1 名 銀メダル 3 名
2017 年	第 28 回	イギリス／コヴェントリー	7 月 23～30 日	64	241 名	銀メダル 4 名
2018 年	第 29 回	イラン／テヘラン	7 月 15～22 日	71	269 名	銀メダル 2 名 銅メダル 2 名
2019 年	第 30 回	ハンガリー／セゲド	7 月 14～21 日	72	285 名	銀メダル 2 名 銅メダル 2 名

2020 年	第 31 回	日本／佐世保	7 月 3～11 日	http://www.ibo2020.org/
--------	--------	--------	------------	---

■ 日本生物学オリンピック 2019（今回の日本代表が選ばれた国内大会）

国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる「日本生物学オリンピック」は、20 歳未満で大学入学前の青少年を対象とした、全国規模の生物学に関するコンテストです。理論問題による予選、実験問題を中心とした本選、国際大会レベルの理論問題が出題される代表選抜試験で構成されます。

今回の代表 4 名および次点者 2 名は、下記により実施された「日本生物学オリンピック 2019」により選抜されました。

参考：<http://www.jbo-info.jp/jbo/jbo2019.html>

	日程・会場等	対象
予 選	日程:2019 年 7 月 14 日 会場:全国 47 都道府県の 114 会場	受験者数 4,340 名
本 選	日程:2019 年 8 月 15 日～18 日(3 泊 4 日) 会場:長崎国際大学(長崎県佐世保市)	予選の成績で選ばれた 79 名
代表選抜試験	日程:2020 年 3 月 20 日 会場:科学技術館(東京都千代田区)	本選までの成績で選ばれた 16 名

■ 日本生物学オリンピック 2020(次回の国際大会日本代表選考を兼ねた国内大会)

2021 年 7 月にポルトガル／リスボンで開催される第 32 回国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる日本生物学オリンピック 2020 は、4 月 1 日より参加申し込みを受け付けます。

詳しくは、ウェブページでご案内しています。JBO ウェブページ:<http://www.jbo-info.jp/>

	日程・会場等	参加対象
予 選	日程:2020 年 7 月 19 日 会場:全国 47 都道府県の 103 会場	20 歳未満で大学等に入学する前の、おもに高校生・中学生
本 選	日程:2020 年 8 月 20 日～23 日(3 泊 4 日) 会場:広島大学(広島県東広島市)	予選の成績で選ばれる約 80 名
代表選抜試験	日程:2021 年 3 月 20 日 会場:科学技術館(東京都千代田区)	本選までの成績で選ばれる約 15 名

■ 国際生物学オリンピック日本委員会(Japan Biology Olympiad Committee: JBO)

国際生物学オリンピック日本委員会は、日本国内において日本生物学オリンピックを開催し、国際大会に派遣する日本代表を選考するための三次にわたる試験を行うとともに、日本代表団を組織し、国際大会へ引率派遣しています。日本生物学オリンピックでは先端的な生物学研究にふれる機会を提供するなどして、高等学校等の生徒に対し、生物学への興味と知識の普及を図りつつ、広く科学技術一般への関心の向上と理解の増進を推し進めています。日本代表生徒の国際大会への参加体験は、将来の日本の科学技術を支える人材の育成にも役立つと期待しています。さらに、教育関係者の国際的な交流を促進し、日本の生物学教育の充実・発展に寄与することも同時に目指しています。

以上